

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画

不測の事態により長期化】

- ・ルートの見直しにより、新たに必要となる用地の確保や買収済み用地との交換において関係者との調整に時間を要した。
- ・厳しい財政状況により、事業費の確保が困難となった。また、県負担額の縮減も考慮し交付金整備区間を増やすこととしたが、事業期間は長期化している。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

「群馬県過疎地域自立促進計画」に位置付けられている路線を、県が沼田市(旧利根村)に代わり事業実施している。

片品川を挟む旧利根村と旧白沢村の幹線道路かつ、広域幹線農道「望郷ライン」の一部として観光資源の有効利用および過疎地域の活性化を図るための事業であり、現在の整備進捗率は62%である。

本区間が整備されることにより、旧白沢村と旧利根村の交流促進が期待されるとともに、利根沼田地域や片品方面へ観光アクセスの向上が図られ、過疎地域の活性化に大きな役割を果たすことから、事業効果の早期発現を図るべく、今回縦断線形や平面線形を見直した。その結果、コスト縮減が図られ、事業の完成が平成27年度となる。

今後もコスト縮減に努めながら早期完成を図りたい。